

標的型メール攻撃による被害に遭わないために・・・

標的型メール攻撃の着眼点

- 件名
緊急を装うようなものや、組織固有の用語を使用した件名
- 送信者(メールアドレス)
フリーメールアドレスや普段と違うアドレスからの受信
- メール本文
 - ・ 過去に受信した電子メールと同じ文面のもの
 - ・ 不自然な表現が含まれるもの
- 添付ファイル
 - ・ 実行・圧縮ファイルが添付されているもの
 - ・ アイコンが不自然なもの



標的型メール攻撃対策

- 上記の着眼点に該当するような場合は、送信者に確認してみましょう。
- 送信者に確認する際は、信頼できる正しい問い合わせ先を確実に確認した上で、連絡しましょう。
- 添付されたファイルを不用意に開いたり、疑わしいURL(リンク先)はクリックしないようにしましょう。
- 誰でも被害に遭う可能性があるという認識を常に持ちましょう。



身に覚えのない電子メールを
受信した場合は、システム担当者に速報を

標的型メール攻撃とは・・・

業務に関連した正当な電子メールを装い、不正プログラムを添付した電子メールを送信し、受信したコンピューターを感染させるなどし、企業等の情報窃取やシステムの破壊を目的としたサイバー攻撃のことです。

小倉北警察署

